

梅雨期の豪雨イベントに関連した広域気象背景場の抽出とその経年変動 Anomalous Weather Patterns in Relation to Heavy Precipitation Events in Japan during the Baiu season

大庭 雅道^{1*}; 門倉 真二¹; 野原 大輔¹; 豊田 康嗣¹; 吉田 義勝¹

OHBA, Masamichi^{1*}; KADOKURA, Shinji¹; NOHARA, Daisuke¹; TOYODA, Yasushi¹; YOSHIDA, Yoshikatsu¹

¹ 電力中央研究所

¹Central Research Institute of Electric Power Industry (CRIEPI)

時空間的に複雑に変動する日本域の夏季気象場を理解するために、パターン分類手法の一種である「自己組織化マップ」を導入することによって、過去の日本域の降水現象に関連した気象パターンの分類を行うと共に、その変化傾向を調査した。分類には相当温位、気圧面高度場、東西・南北風の JRA-55 再解析データを用いた。日本域夏季の豪雨と関連の深い気象パターンを抽出したところ、地域ごとに、関連が深い気象パターンが異なることがわかった。また、解析対象期間 54 年間 (1958~2011 年) において、豪雨の背景場としての広域気象パターンの発生頻度に長期変動が見られた。

キーワード: 自己組織化マップ, 梅雨, 極端降水, 気候変動, エルニーニョ・南方振動

Keywords: Self-organizing maps, Baiu, Extreme rainfall, Climate variability, El Nino/Southern Oscillation